

1 題材名 「絵の具ミラクルーたん生！えのぐリアンー」

2 目 標

- 絵の具やいろいろな材料を自分の思いに合わせて使うことに関心をもち、そのよさに気づきながらつくることを楽しもうとする。 (造形への関心・意欲・態度)
- 試しながら発見をしたり、偶然できた形や色などをきっかけにしたりして、発想や構想をふくらませることができる。 (発想や構想の能力)
- 絵の具やいろいろな材料、用具を選んだり試したり、組み合わせたりしながら、工夫して表すことができる。 (創造的な技能)
- 自他の作品の工夫や表し方などのよさやおもしろさを味わうことができる。 (鑑賞の能力)

3 題材の学習について

(1) 題材観

第3学年及び第4学年のA表現(2)では、形や色、材料などを生かし、その間を行ったり来たりするような体験をしながら、表し方を工夫し、つくりだす能力やデザインの能力を伸ばすことをねらいとしている。

本題材は、このねらいと表現や扱う材料、用具に広がりが見られてくるこの時期の児童の実態を踏まえ、絵の具を中心とした材料や用具に進んでかかわることを通して、工夫して表す能力を伸ばすことをねらいとしている。絵の具に関する基礎的・基本的な内容を習得させていく本学年において、筆以外のいろいろな材料や用具を児童自らが選び、試し、組み合わせることで、自分らしい思いや表し方をつくりだすことができるようになることを考える。また、形や色、材料にかかわりながら、身に付けた表現方法や用具の使い方を活用し、工夫して表す能力を伸ばすことのできる題材であると考えられる。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、図画工作科の学習が好きで、たいへん意欲的に活動に取り組んでいる。一方で、絵の具の表現についての意識・実態調査では、「筆でかく」以外の表現の工夫をしたことがある児童は少なく、一学期の図画工作科の授業観察からは、思いに合わせて材料を集めたり選んだり、用具の使い方を工夫したりする児童は少ないことをとらえている。そのため、題材によっては、友人同士で同じような感じの作品が完成することもある。

このような本学級児童の実態を踏まえ、自らの思いをよりよく表現できるようにするためには、身に付けた力を活用できるように学習過程を工夫し、児童が形や色、材料などに十分にかかわることができるような学習活動が必要であると考えられる。

(3) 指導観

本題材の学習過程における手立てとして、導入の段階で、絵の具やいろいろな材料をもとに、たくさん表現を楽しく試す活動を位置付ける。ここでは、絵の具やいろいろな材料にかかわることを通して、形や色、材料などのよさや特徴に気付いたり、友人との学び合いが生まれたりすることをねらいとする。また、製作の段階においては、大きさや色、質感の異なる用紙や材料を豊富に用意し、児童が思いに合わせて選んだり試したりしながら、工夫して表せるように試しの場を設定する。さらに、自分なりに工夫した表現方法に名前を付け、友人に紹介することで、互いの表現方法のよさを理解し合えるようにする。

製作中の児童への指導・助言については、観察や学習カードの記述をもとに、一人一人のつぶやきや試行錯誤する姿を共感的にとらえ、児童が思いを生かしながらつくりることができるようにする。

このように、身に付けた力を活用できるように学習過程を工夫することで、形や色、材料などにかかわりながら、工夫して表す能力を伸ばすことができるようにしたい。さらに、このような学習を通して、自分の思いや夢を形や色に実現していく楽しさや喜びを味わわせたいと考える。

4 指導計画及び評価計画 (6時間取扱い)

○は本時 (2時間連続)

時 階	段 階	学 習 活 動	観 点 別 評 価 規 準			
			造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
1 2	出 会 う	『絵の具にまほうをかけよう』 絵の具や材料にかかわり、いろいろな表現を試す。	絵の具やいろいろな材料に進んでかかわり、楽しく試そうとしている。 (観察)	いろいろな材料を使い、自分なりの絵の具の表現方法を思いついている。 (観察, 学習カード)		
3 ④ ⑤	ね る 表 す	『たん生！えのぐリアン』 絵の具や材料にかかわり、試したことをもとに発想を広げる。 新たな表現を試したり、組み合わせたりしながら構想を広げる。 自分の思いに合わせて、工夫してえのぐリアンをつくる。	形と形、色と色、形と色、色と材料などの組合せで、いろいろな表し方ができることに気付き、それを楽しもうとしている。 (観察)	試したことをもとに、新しい発見をしたり、偶然できた形や色などをきっかけにしたりして、新しい思いが生まれ、発想をふくらませている。 (観察, 作品, 学習カード)	絵の具やいろいろな材料、用具を選んだり試したり、組み合わせたりしながら、工夫して表している。 (観察, 作品, 学習カード)	友人の表し方を見て、いろいろな工夫やよさに気付いている。 (観察, 学習カード)
6	ま と め る	『えのぐリアンをしようかいしよう』 完成した作品を紹介し合う。	自分や友人の作品の工夫や表し方のおもしろさに関心をもとうとしている。 (観察)			自分や友人の作品の工夫や表し方のよさやおもしろさを味わっている。 (発表, 学習カード)

5 本時の学習

(1) 目 標 試したことや気付いたことをもとに、絵の具やいろいろな材料、用具を選んだり試したり、組み合わせたりしながら、工夫して表すことができる。

(2) 準備・資料

教師…共用絵の具 (赤, 黄, 青, 白, 黒)

さまざまな用紙 (画用紙, 段ボール, 紙皿, 紙コップ, キッチンペーパー, 新聞紙等)

かくための材料 (ローラーセット, スポンジ, バット, スプレー, ビー玉, 綿棒, 綿, 金網, 歯ブラシ, フィルムケース等)

接着・接合のための材料 (輪ゴム, 粘着テープ, スズランテープ, アルミ線, ひも等)

ビニルシート, 参考資料, 記録カード

児童…集めた材料, 水彩絵の具セット, はさみ, のり, 木工用ボンド, 学習カード, 筆記用具等

(3) 展 開

学習活動・内容	指導の手立て (○全体・個) (評) 評価
<p>1 本時のねらいと活動内容を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">絵の具やいろいろな材料を工夫して、「えのぐリアン」をつくろう。</div></p> <p>2 絵の具や材料のよさを生かして、つくりたいものをつくる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">□は期待する児童の反応</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 偶然できた色や形のおもしろさから発想する。 <ul style="list-style-type: none"> ・翼の形になった。 ・恐竜みたいだ。 ・2枚を組み合わせてみよう。 ・立たせてみよう。 等 ○ 材料の組合せを工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ストローを2本にしてみよう。 ・スポンジと綿棒を使おう。 ・段ボールに絵の具をスプレーで吹き付けてみよう。 等 ○ 技法を組み合わせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ローラーでかいた上に、ビー玉を転がしてみよう。 ・金網の下に型紙を置いて、歯ブラシでこすってみよう。 ・色を付けたキッチンペーパーにスプレーしてみよう。 等 ○ 接着や接合の方法を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・粘着テープを使おう。 ・接着剤を使おう。 ・段ボールで支えをつくろう。 ・ひもやゴムで結ぼう。 等 ○ 思いに合わせてつくり変える。 <ul style="list-style-type: none"> ・別の方法でやってみよう。 ・もっと大きくしてみよう。 ・スポンジを使って色を重ねてみよう。 ・最後に霧吹きで吹き付けてみよう。 等 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の児童の多様な表現方法を賞賛することで、学習意欲を高めるようにする。 ○ 新たな材料を見つけてきた児童がいた場合には紹介し、実際に触らせることで、どんな表し方ができるかを想像させるようにする。 ○ 用具の使い方や時間などの約束ごとを確認しながら、安全面や活動時間の意識付けを図る。 ○ 自分たちで集めた材料を友人と交換してもよいこと、「まほうネット」を自由に使ってよいことを知らせ、思いに合わせて選ぶことができるようにする。 ○ たくさんの材料や絵の具などを試すことができるような場を設定し、自分の思いに合わせて自由に選ぶことができるようにする。 ○ 前時の活動から、児童がつくりたいものや準備した材料などを学習カードや補助簿等で把握し、一人一人の思いを共感的にとらえ指導・助言をする。 ○ 平面作品や立体作品にとらわれることなく自由につくってよいことを伝え、表現を広げさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ イメージがふくらまず活動が進まない児童には、教師と共にもう一度思いついたことをどンドン試したり、参考資料を見たり触ったりしながら、イメージをつかむきっかけをつくる。 ○ 新しい表現方法を児童が「まほうカード」に記録することで、新たな思いをふくらませる手立てとする。 ○ 接着剤で付かない材料は、ひもやアルミ線を使用したりする方法もあることを知らせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(評) 試したことや気付いたことをもとに、絵の具やいろいろな材料、用具を選んだり試したり、組み合わせたりしながら、工夫して表している。 (観察, 作品, 学習カード) <創造的な技能></p> </div> <p>(努力を要する状況の児童への手立て)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工夫して表すことができない児童には、対話をしながら表したいことを確かめ、共に材料を選んだり、友人の使っている材料を参考にしたりするよう助言をし、作品の状況を見て、意図的に表現方法を試させることで、製作へのきっかけとする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 製作の過程で気付いた材料などのおもしろさや美しさを大切にするとともに、友人の製作の様子にも目を向けさせ、互いのよさに気付くようにする。

<p>3 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 工夫した表し方 ○ 友人の表現方法や作品のよいところ 	<p>○ 学習カードに記入し活動を振り返る場面をもつことで、一人一人が満足感を得られるようにする。その際に、工夫して表したことについて自分の言葉で表現させ、学びを実感させる。</p>
<p>4 次時の活動について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>「えのぐリアン」をしようかいしよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の名前 ・ 得意技等紹介したいこと 	<p>① 友人の表し方を見て、いろいろな工夫やよさに気付いている。 (観察, 学習カード) <鑑賞の能力></p> <p><努力を要する状況の児童への手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表し方の工夫やよさに気付くことができない児童には, 形や色, 材料などをきっかけに, それがどのように使われているかを言葉かけしながら, 感じ取らせる。 <p>○ 一人一人の材料や絵の具のよさを生かした表し方を認めることで, 次時の活動への意欲を高めたい。</p>
<p>5 後片付けをする。</p>	

(4) 学習活動の場

